

第二延山小学校のみなさん、おはようございます。

今朝は始めに、『たよりになる6年生』の姿をいくつか紹介します。

まずは、ガレリアで1年生をクラスごとにならべている6年生。

次は、雨の中の登校で濡れてしまったランドセルを拭いてくれている6年生。

そして、傘のたたみ方を優しく教えている6年生の姿です。

しっかり教えたりお世話をしたりしてくれる6年生のおかげで、きっと1年生の皆さんも、どんどん学校になれてきたことでしょう。6年生の皆さん、ありがとう。

さて、今日はこのように6年生にいろいろお世話になっている1年生に、それから1年生以外の皆さんにも伝えたい言葉があります。それはね、

### おとなになるって いうことは、「してくれない」と いわないこと

という言葉です。

今はいろいろ手伝ってもらっている1年生だって、自分の身の回りのことは、少しずつ自分でできるようにしなければなりません。それは、ほかの学年の皆さんも同じですね。「先生が言ってくれなかったから、できない。」「家の人を持たせてくれなかったから、忘れちゃった。」「あの子が先にやってくれなかったから、自分もできなかった。」・・・etcどれも、カッコ悪いです。

もちろん、低学年の皆さんと高学年の皆さんとでは、少し違います。

でも、大きくなるにつれて、「自分でできること」はどんどん増やしていかなければならないし、何より「してくれない」と言わないようになることが大切だと思っています。『おとなになるって いうことは、「してくれない」と いわないこと』という言葉、覚えておいてくださいね。

\*

\*

\*

\*

\*



おまけのお話

学校の周りのある場所で見付けました。何の幼虫でしょう??

私もわかりませんが、きっといろいろな場所にいろいろな虫が潜んでいることでしょう。ぜひ皆さんも、探してみませんか。